

別記様式

会 議 録

会議の名称	平成30年度第4回戸田市外部評価委員会（施策8 教育環境の充実）
開催日時	平成30年10月18日（木） 9時30分 ～ 10時40分
開催場所	本庁舎階 505会議室
委員長等氏名	委員長 佐藤 徹 副委員長 長野 基
出席者氏名 （委員）	委員 興松 敬史 委員 市ヶ谷 和親 委員 谷口 光弘 委員 西内 恵美子 委員 石田 美枝
欠席者氏名	無し
説明のため 出席した者	教育委員会 次長 熊谷 尚慶 教育総務課 課長 栗津 典浩 教育総務課 主幹 諏訪村 喜信 学務課 課長 武藤 昌博 学務課 主幹 田中 耕次 学校給食課 課長 小須田 始
事務局	総務部 秋元次長 経営企画課 石川副主幹 須藤主事
議 題	1 開会 2 外部評価委員紹介 3 対象部局紹介 4 外部評価ヒアリング 5 閉会
会議の経過 及び 会議結果	別紙のとおり
会議資料	・平成30年度施策評価シート ・平成30年度事務事業評価シート

(会議の経過)

発 言 者	議題・発言内容・決定事項
委員	<p>1 開 会</p> <p>2 外部評価委員紹介 各委員の紹介を行った。</p> <p>3 対象部局紹介 評価対象部局の紹介を行った。</p> <p>4 外部評価ヒアリング</p> <p>○概要説明 担当部局から概要説明を行った。</p> <p>○事務事業の妥当性 小児生活習慣病の検診の受診率は、何年からの受診率で、その変遷、検診後のフォローアップはどのようになっているのか。</p>
担当者	<p>小児生活習慣予防検診については、指標については、平成27年度からとなっている。検診は小学校4年生全員対象である。実施に当たっては、保護者に希望対象をとっている。希望する方は必ず受診するが、小学校4年生の児童の中には、検診で血を抜くのを怖がり、受診したがない児童がいるので、現状の受診率にとどまっていると考える。</p>
委員	<p>検診後のフォローアップについては、養護教諭が各学校から、小学校4年生のときの保護者の懇談会において、受診の目的を説明したり、担任からも説明する。</p>
委員	<p>実体験から申し上げますと、受診して数値が高かった場合等、それに対する働きかけがなかった。この点について、声かけなど、何かフォローアップがあるのか。それとも、とりあえず受診をさせている状況なのか。また、保護者としては、子どものコレステロールを出されても、認識の違いもあり、ど</p>

	うすればいいのか分からないといった意見もあるが、どう考えるか。
担当者	現状としては、結果を配付しているだけである。病院へ行くように勧告するという事までは行っていない。結果を見て、病院へ行くかどうかは、保護者の判断であるが、丁寧に実施することが課題である。
委員	診断結果に対するフォローについて、我々が健康診断を受けた場合、結果を見ると、再検査を要するとか、そのような記載があるが、そのようなものは一切ないのか。
担当者	歯科検診などでは、医療機関へ行くことを勧告するが、小児生活習慣病予防検診では勧告はしない。あくまで生活習慣を見直してもらおうきっかけである。
委員	フォローがないのであれば、検診率は上がらないのではないか。この検診は、病院で行っているのか。
担当者	学校で実施している。
委員	給食の指標で、「安全・安心できるおいしい給食の維持」とは、どう判断しているのか。
担当者	衛生管理を行った上で、給食の提供が必要な日に、必ず提供するという事である。
委員	給食を提供できれば100%ということか。安心や安全というのは、すでに前提条件となっているのか。
担当者	そうである。
委員長	指標に対する算定式がない。式を示すとどのような形になるのか。

担当者	分母は給食を提供する日にちとなり、分子は実際に給食を提供した日にちである。
委員長	「おいしい」という評価は、主観に左右されるものである。どのように測るものなのか。例えば児童・生徒に給食のおいしさのアンケートを取るなど、そのようなことはしているのか。
担当者	それは行っておらず、「おいしい」という評価を推し量るものはないが、残菜量を見て、それが減れば食べる量が増えていると認識している。また、残菜量を踏まえた上で、給食の献立を立てるようにしている。
委員	献立表に栄養が載っているが、計算はどのようにされ、どのように把握されているのか。残菜があれば、栄養が満たされないということになってしまう。
担当者	栄養は、基準を上回っているように設定している。もし残菜があれば栄養不足にはなる。その点は、栄養士が検討をしている状況である。
委員長	本施策には、児童・生徒の栄養という観点から、市は、「栄養面」も含めた、安心・安全なおいしい給食の提供を進めるということが施策に含まれているという理解でよろしいか。
担当者	市の施策としては、それは含まれているが、学校給食課としては、栄養という観点では、栄養士が把握し、献立を立てており、担当課では、栄養という観点で、メニューに対する検討はしていないのが現状である。 現在の施策に対する指標としては、「教育環境の充実」というものを目指すに当たり、そぐわない内容が掲載されていると担当では認識している。もちろん、学校給食を提供することは、市の施策として必要なこととは認識しているが、指標とすべきかどうかを検討する。
委員	小児生活習慣病予防検診では、希望者に対し検診をするということであるが、例えば、肥満度がある一定基準以上の児童・生徒は、必ず受けるような

	<p>形にしてはどうか。早めに生活習慣病を抑えるには、効果的であると思うし、それをもって検診率とすれば、数値は上がるのではないか。</p>
担当者	<p>今の提案であれば、必要な方に対する検診率は向上するが、児童・生徒に肥満であるから受診を勧めることは、プライバシーにも関わり、非常に難しい。学校により対応は異なるが、対象となる児童には、個別に、肥満度について、話すことにしている。</p>
委員	<p>身体測定において、身長と体重は初めに把握できると思うので、対応は可能であると思う。</p>
担当者	<p>必ず受けなければならない検診ではないので、対応は難しいと考える。</p>
委員	<p>他の自治体ではどのように進めているのか。</p>
担当者	<p>他市では、中学生を対象に実施している。また、他市では、保護者から同意書をとるという形式で行っている。つまり、同意する形で受診するから、受診率が高いと考える。手法を変えると受診率は上がる余地があると思う。これは今後の課題である。</p>
委員	<p>○施策の進捗状況</p> <p>事務事業評価シートの中の小学校・中学校施設整備事業において、大規模改修を行うという内容が示されているが、これは、単独調理校を増やす上での話となるのか。</p>
担当者	<p>これは、校舎全体の話である。給食調理場の話ではない。</p>
委員	<p>戸田東小学校、中学校がこの事業にあたるのか。</p>
担当者	<p>戸田東小学校・中学校の件は、「建て替え」となる。ここで示している数字は、「改修」である。</p>
委員	<p>安心という概念には、リスク管理の観点が生じると思うが、心理的な安心</p>

<p>担当者</p>	<p>という側面もあると思う。ここでの安心の度合いは、どのように図っているものなのか。</p> <p>学校施設の観点から申し上げますと、学校校舎の耐震はすべて終了している。今実施しているのは、例えば、雨漏りやダクトの補修、非構造部材などの耐震化といった観点での整備をすることで、安心という部分に寄与していると考えており、それらの工事の進捗を指標として示している。また、学校全体の保全計画としては、財務部において、公共施設の維持管理や改修について、全庁的な計画があるため、その計画に沿って実施している。本指標は設備におけるものであって、心理的なものとは認識していない。</p>
<p>委員</p>	<p>現在は、科学技術の向上により、汚染物質や化学物質についての測定は簡単にできるようになった。求められるスペックも変わってきており、測定をしないことはあり得ない状況である。また、避難所としての観点から、学校を使いやすくするように、例えばバリアフリー化を進めたりしているのか。</p>
<p>担当者</p>	<p>避難所となるのは、教室ではなく、基本的には体育館である。体育館の改修に当たってはシャワーをつけるなど使いやすくはしている。なお、建築や増築をする際は、バリアフリー化する必要があるが、既存の建物はバリアフリー化していない。そのような方が入学等をする際に、対応を行うような形で対応している。</p>
<p>委員</p>	<p>結果的にバリアフリー化が終了している学校はどのくらいあるのか。</p>
<p>担当者</p>	<p>既存の校舎でバリアフリー化されているものは存在しない。今の質問は、児童・生徒のためのバリアフリーなのか、避難所としてのバリアフリーなのかどちらなのか。</p>
<p>委員</p>	<p>その点は、どちらにせよ利用されてしまうので、どちらの観点とは言えない部分ではある。施設としては、総合的に進んでいるのか。</p>
<p>担当者</p>	<p>既存の校舎は、そのような方が利用する需要が少なく、進んでいない状況</p>

	<p>である。</p>
委 員	<p>ハード整備面の進捗を聞きたい。まず、平成23年度から中長期保全計画を立てられ、戸田市全体として、公共施設についての整備方針があり、計画に沿って進めているということであるが、計画期間中には、様々な社会的変化があると思う。そのようなことは踏まえ見直しを行っているのか。</p>
担当者	<p>この施策は、設備的なものがメインであるが、現在、18校中14校の学校においては、すでに設備の改修は終わっている。現在は、大規模な工事を要する改修と建て替え工事が重なっているところが現状であるが、今意見があったように、社会的変化等を踏まえ、見直しをすることは必要と感じている。</p>
委 員	<p>現状では、見直しが行われていないということか。</p>
担当者	<p>毎年、財務部局と担当課で見回りや点検を行い、協議をしながら、計画の期間等を変更したりはしているが、長期計画は作っていない。</p>
委 員	<p>本施策は、教育環境の充実ということであるが、教育環境については、変化が多いと思われる。現時点で感じている新たな課題はあるのか。</p>
担当者	<p>本市に限らず、全国的にも問題となっていることであるが、建設ラッシュ時に建てられた建物が、年数が経ち、老朽化が進んでいることが挙げられる。当たり前の話であるが、新たに施設を建て替えしている最中でも、他の施設の老朽化は進んでいく。しかしながら、すべて建て替えるというようなことはできない。財源は限られており、その中で進めていく必要がある。老朽化の対策、建て替え、長寿命化、これらについて、施設ごとにどういった対策を進めていくべきかを決め、さらにどの施設から手を付けるのか、優先順位を決めなければならない。この点は、非常に難しい課題であると感じている。</p>
委 員	<p>○今後の方向性 大規模改修も控えているので、単純に予算は増えると考えている。増加を示し</p>

	た理由で、改修工事以外の要素はあるのか。
担当者	戸田市は、人口が増加している。したがって、教室不足が生じ、それによる増築は必須であると考え。また、児童・生徒が増えれば、それだけいろいろなコストはかかる。給食に係るコストも増える。
委員	予算を増加することについて、コメントにおいて、検診率を上げるためには、担当者を増やすべきという旨を記載しているが、詳細について説明願いたい。
担当者	より専門的な知識を持った方が、各学校で行われる学校保健委員会で話しをしたり、懇談会等で専門家の方から、検診について話してもらうことが考えられる。そのような、看護師や医者を増やすべきと考え記載した。
委員長	そういった専門職を担当課内におくということか。
担当者	そのようなことではないので、記載する表現方法について再検討したい。
委員長	話をするということであれば、委託でもできるのではないか。
担当者	そのように認識している。
委員	予防検診の予算について聞きたい。検診について、家庭での費用についてはどのようなになっているのか。
担当者	市において、予算を確保しており、それを活用している。
委員	そもそも、小児生活病予防検診は、事務事業でいうと、どの部分当たるのか。また、事業が開始されたのは、いつからなのか。
担当者	学校保健事業である。なお、本事業が開始されたのは、平成20年度からであるが、指標としたのは、平成27年度からである。

委員	施設の大規模改修業務については理解した。業務において、コストを減らすことや、他の所属に業務を移すことは可能か。そうすることで、業務量も減るのではないか。
事務局	業務量の話は、組織の統廃合の話にもつながると思う。この点は、第5次総合振興計画の策定に合わせて、組織の見直しについても検討していく。しかし、各部門の意見を聞き、調整を進めることが必須である。 ○その他
委員	児童の検診率については、そもそも指標として示した根拠は、どのような考えがあったのか。また、目指す方向はどのような内容であったのか。
担当者	施策の目的としては、子どもたちの健康の保持増進が挙げられる。しかしながら、指標として数値化された目標を掲げる際に、他に数値で表せるものがなかったことが、現状であることは事実である。
委員	人材育成奨学資金給付金について、給付額の根拠は何か。
担当者	これは、貸付型ではなく、完全な給付型の奨学金であり、市内の方からの寄付により開始した事業である。対象は、高校生や海外留学希望者であり、高校生を対象としては、年額18万円としている。金額の根拠は、高等学校の無償化が進んでいることや、貸付制度とのバランスを考えたほか、原資が寄付によるものであることから、なるべく多くの方に利用していただく方向性を考え、少しでも家計の手助けにしてもらおうように考え、決定した。
委員長	子どもの貧困対策は、当該施策で実施していないのか。また、公立学校への空調設備は、戸田市はどうなっているのか。関連して、地震により、学校のブロック塀が倒れた事件が発生したが、戸田市の対応状況はどうか。
担当者	ブロック塀は、すでに改修を行った。また、空調についても、すでに対応済みである。なお、子どもの貧困対策は、部局としては、子ども青少年部と

	<p>福祉部で対応している。教育委員会としては、連携、情報提供をしている。</p> <p>委員長 貧困対策についての連携は、どのように行っているのか。また、虐待やいじめの対策は、本施策の事業が。</p> <p>担当者 連絡会議を実施して、貧困等についての話はしている。虐待やいじめの対策は、本施策に直結する事業とはなっていない。</p> <p>5 閉 会</p>
--	---